

競技上の注意 団体戦・シングルス・ダブルス

春季・総体・新人

- 1 本大会は、現行の日本卓球ルールを準用して行います。
 - 2 ベスト4の学校・個人を表彰します。
 - 3 団体戦についての審判は両校から出る相互審判とします。
個人戦についての審判は、はじめは自校審判です。のち敗者審判となります。
 - 4 アドバイスについては、プレー領域内で行ってください。
ただし、監督の先生が役員を務めている学校の選手については、仕事を行う都合があるため、プレー領域を離れてのアドバイスを許可します。
 - 5 審判の人は、疑わしいサーブがあった場合は、一度は注意し、その後はコート主任の先生の承認を受けて、失点にしてください。
 - 6 アドバイザーの方は、アドバイザークードを必ず身につけてアドバイスを行ってください。
事前に学校長の承認を受けていない方は、アドバイザーの資格がありません。
 - 7 プレー領域内での応援は3回戦からとします。
団体戦ではベスト8から・個人戦ではベスト32からとなります。
その際、通路（サイド）からの応援はしないようにしてください。

*3回戦以前の応援については、男子は2階から、女子はシートを引いてあるところからの応援です。団体戦の登録メンバーのプレー領域内からの応援は許可します。
 - 8 応援については、相手を野次ったり、失敗を喜んだりするようなことは避けてください。
また、ネットインやエッジボールについては、「すみません」と発するのがマナーです。
 - 9 台の位置は動かさないようにしてください。
 - 10 ラバーの貼替えについては、必ず役員の先生の許可を得てから、役員室で行ってください。
 - 11 ラケット検査を行います。審判長が抽出し、実施します。協力してください。
- 審判の生徒は、1ゲームごとの時間・アドバイスの時間・タイムアウトの時間を必ずストップウォッチで計ってください。促進ルールは10分経過した時点で、アドバイスとタイムアウトは1分経過した時点で、コート主任の先生に申し出てください。
 - タイムアウト制については、団体戦においては選手または監督が、要求することができます。なお、両者の要求が異なる場合、団体戦においては監督の要求が優先され、個人戦では、選手の要求が優先されます。時間は、1分間厳守でお願いします。
 - タオルの使用は、6ポイント毎・最終ゲームのチェンジエンドのときにしか認められていませんので注意してください。また、ラリーとラリーの間に必要以上に「間」をとらないようにお願いします。あまりにも長い場合は、審判・コート主任が注意してください。
 - 団体戦のユニフォームは、同じものを着用してください。また、相手と同じ場合はどちらかが替えなければなりませんので、2着以上用意するようにしてください。ダブルスの場合も同様です。
 - ラケット、ラバーの確認を事前をお願いします。特に、打球面に傷のあるものや粒高ラバーの粒がとれているものは使用できません。また、ラバーの端の破損やはみ出しも約5mmを超える場合は使用できない場合があります。スペアのラケットやラバーもできるだけ準備してください。
 - ゲーム間のアドバイスやタイムアウトは1分厳守でお願いします。
 - アドバイザー章の受け渡しは監督の先生が行ってください。
 - アリーナには、教職員・アドバイザー・選手の方以外は入らないでください。
 - 大会の運営をスムーズにするために、コールされた後は、すぐに整列をするようお願いいたします。円陣を組むようなことは避けてください。
 - 過度のガッツポーズ等は、挑発につながります。避けてください。
 - ゲーム中の水分補給が必要な場合は、座って飲むようにしてください。また、ペットボトルはバックに入れるなどして直接床に置かないようお願いいたします。床に水滴を付けないための配慮です。
 - 自販機の使用は制限します。中学生の購入を禁止します。十分な水分を持ってくるよう伝えてください。中学生は、自販機前のソファに座らないようにお願いします。